平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

^ = I	1 +-				1			- NK -				
会計	款	項		事業コード			=	事業名			果指標の達成度の要因分析 _{関東業界が成果指揮を変更した場合}	は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)
一般	: 07	01	03	0403	広域	観光排	隹進事業					は、その成業指標を設定 <i>し</i> た号を力、自標直の依拠を記載が 結果となったが、ツアー1団体あたりの参加人数が縮小化の傾向
	分野し	- ' L			_						るため、目標値には届かな	
総合			光の振興								with a final transfer on	
計画	施策 1 観光の魅力向上											
目的市内への誘客促進												
対象	観光客											
意図	花巻を訪れ	1る機会	会が広がん	る						的一	公共関与の妥当性) 妥当である	観光客入込みが伸び悩んでいることから、魅力ある旅行商品造成のために広域連携の取り組みに対して支援を行う必要がある。
事業権	既要 …上詞	記目的を	実現する	ための事業手	法を記	載する	こと			妥当	見直し余地がある	
	観光パンプ									性	妥当でない	
近隣	市町村と連	重携した	上広域的7	な産業観光(工場見	学等).	パンフレット	を作製		_	成果の向上余地	従来の遠野、平泉との連携に加え、新たな地域との連携による広
	ハトーブ周	, ,		~ *						有郊) 向上余地がある	域観光に取り組む。
		卢泉、 釜	釜石の観え	光素材を連携	隽させた	た特典	付きツアー「	いわてクラシ	ック街道」の	性	向上余地がない	
実施へ	の又抜 てまるごと	· 肉ファ	- スタ盟(星支揺								
					わてまる	るごと	肉フェスタ20)15 の実施へ	の支援	効ー	事業費・人件費の削減余地	■ 運行実績は今年度回復傾向にあり、効果的に実績を上げるためには削減はできない。
○釜石	線沿線活性	生化事業	美支援					• • • • •		率	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある	TARTINGIA CC'SY 0
		自治体が	ゞ連携し`	て、SLの)	軍行を車	軸とし	た観光宣伝を	·行う釜石線沿	線活性化委員	性) どちらも削減余地がない	
会への	負担金										受益と負担の適正化余地	特典付きツアー、イベント等への参加機会は平等に与えられてい
										□公□	受益機会の見直し余地がある	
市民	参画の有無	ŧ (対象外)	平上性上	費用負担の見直し余地がある	
+-	市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定					事業協力・	1 (適正である				
			後援・協		○補	助・助	1成	委託		.,	今評価 …上記評価結果の総括	
活動	」指標 (上記	己「事業権	既要」に対り	芯) 単			26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)			た広域観光ルートを造成することは、集客力を向上させるうえで
① ツフ	7一開催回	数			al L	計画	180	180	180			の連携や、新たな観光資源を活用して、更なる広域化を促進させ
						実績	163	161		る必	要がある。	
2						計画 実績						
						計画						
3					<u> </u>	実績						
成果	:指標 (上記	己「意図」	に対応)	単		区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)			
① W.=	7 会 + n	жь		ر		目標	5, 000	7, 000	7, 000			
① ツアー参加人数		^		実績	6, 956	4, 912						
2			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			目標						
						実績						
3					目標							
			実績	<u> </u>								
成果指標 の達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり (ごどおり 〇	目標値より低い							

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

会計	款	項	B	事業コード	事業名
一般	07	01	03	0403	広域観光推進事業

単位:千円

					1-122 - 114
		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	5, 700	6, 510		810
	国・県		739		739
財源	地方債				
内訳	その他				
	一般財源	5, 700	5, 771		71

 事業期間 ○ 単年度繰返
 期間限定
 〔平成
 年度
 ~ 平成
 年度

部重点施策における目標

観光資源の充実と発信力を高め、交流人口の拡大と観光客満足度の向上を図る。

事業開始の背景・経緯

花巻温泉郷を中心とした宿泊受入基盤と広域的な観光資源の組み合わせにより、観光誘客の相乗効果を発揮させる。

事業概要

- ○産業観光パンフレット印刷
- 近隣市町村と連携した広域的な産業観光(工場見学等)パンフレットを作製
- ○イーハトーブ周遊観光促進支援

花巻、遠野、平泉、釜石の観光素材を連携させた特典付きツアー「いわてクラシック街道」の実施への支援

- ○いわてまるごと肉フェスタ開催支援
- 県南広域エリアが連携して開催する「いわてまるごと肉フェスタ2015」の実施への支援
- ○釜石線沿線活性化事業支援

釜石線沿線の自治体が連携して、SLの運行を軸とした観光宣伝を行う釜石線沿線活性化委員会への負担金

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

○広域連携する相手方(自治体等)と、受益を共有できる仕組みづくりを心掛けること。

担当部署 部名 商工観光部 課名 観光課

担当係長 鈴木 秀官 内線 288

(単位:千円)

《事業手法の詳細》

○ 産業観光パンフレット作製 810千円

近隣市町村と連携した広域的な産業観光(工場見学等)パンフレットを作製する。

〇 イーハトーブ周遊観光促進事業補助金 5,000千円

(一社) 花巻観光協会が実施する花巻、遠野、平泉、釜石の観光素材を連携させた特典付きツアー企画「クラシック街道」を支援する。

「クラシック街道」企画

条件を満たしたツアーを販売し送客した場合、特典をサービスする。

〈条件〉 ・花巻、遠野、平泉、釜石のうち原則3カ所以上を観光

- 花巻に宿泊
- ・20名以上の送客
- ・旅行商品名に「クラシック街道」を使用

〈特典〉 ・花巻 郷土芸能手配

・平泉 専門ガイド手配

・遠野 民話語り部手配 ・釜石 震災語り部手配

〇 いわてまるごと肉フェスタ実行委員会負担金 300千円

県南自治体等(花巻、北上、遠野、奥州、一関、西和賀、金ヶ崎、平泉)が合同で開催 する「食」のイベントに対し負担する。

いわてまるごと肉フェスタ2015

開催日、開催場所 未定

内容 焼き肉コーナー、出店コーナー、ステージイベント、もちまき等

〇 釜石線沿線活性化委員会負担金 400千円

釜石線沿線自治体(花巻、遠野、釜石、住田)、JR等が共同で実施する誘客事業に対し負担する。

内容 SL運行に合わせた共同事業

ポスター、パンフレット作成、首都圏等へのキャラバン